

関川村「保・小・中連携プログラム」



目指す子どもの姿

ふるさと関川を愛し、誇り、 学び続ける子ども



学力の向上

保	・自ら気づくことができる環境をつくる
小・中	・自己実現のために学び、「勉強が好き」と思う児童生徒を育む (個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向けた授業改善) ・ICTを適切に活用し、一人一人の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組ませる (教育デジタルトランスフォーメーションの推進)
家	・よく観て、できたこと、やったことを認め、ほめる ・地域や世の中のことを話題にする



豊かな心の育成

保	・主体性をもって過ごせる環境をつくる
小・中	・進んで気持ちのよいあいさつを交わす (年間を通してのあいさつ運動) ・人とのつながりや挑戦を通して、自分のよさを見つける (自己肯定感を基盤とした主体性や創造力の育成)
家	・親子で「おはよう」「ありがとう」などのあいさつを毎日かわす ・他の子どもと比べず、自分のよさに目を向けさせる

世界に誇る生活習慣の確立

姿勢正して。1にあいさつ。2に返事。
靴をそろえて椅子入れる。箸と鉛筆正しく使う。



健康・体力の向上

保	・のびのびと遊べる環境をつくる
小・中	・健康な体としなやかな心をつくる (体育以外の運動時間が、1週間に60分以上を目指す) ・安定した生活習慣の促進を図る (同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きる児童生徒を増やす)
家	・SNS、ネット(ゲーム・動画等)利用ルールを決め、守らせる (セーブメディアデー) ・起床時間、就寝時間、家庭学習の開始時刻を一定にする (3点固定)



地域連携の推進

保	・地域の人と交流できる環境をつくる
小・中	・地域の「ひと・もの・こと」と関わり、ふるさと関川に対する理解を深める (生活科、総合的な学習の時間の充実と接続) ・地域参加から地域貢献へと活動を広げる (関川村の魅力の発信、地域行事への積極的な参画)
家	・親子で地域の行事に参加する ・親子で地域のよいところを話す